

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	肝炎総合対策費			担当部局庁	健康局			作成責任者
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	疾病対策課肝炎対策推進室			鈴木 章記
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	肝炎対策基本法 第3条			関係する計画、通知等				
主要政策・施策	高齢社会対策、子ども・若者育成支援、少子化社会対策、男女共同参画			主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の肝炎ウイルスキャリアは、B型が110万人～140万人、C型が190万人～230万人存在すると推定され、この中から肝硬変や肝がんへの重篤化が問題となっている状況に鑑み、「肝炎対策基本法」が施行(平成22年1月)され、同法に基づき「肝炎対策基本指針」が策定(平成23年5月)された。基本指針に掲げられる各施策を実現し、肝炎対策の更なる戦略的、総合的な推進を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①肝炎対策ブロック別担当者会議の開催 ②肝炎治療戦略会議の開催 ③肝炎総合対策推進国民運動事業等の普及啓発事業の実施 ④肝炎ウイルス相談事業及び相談員養成研修の実施							
実施方法	直接実施、委託・請負、補助							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	118	138	137	135		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	118	138	137	135	0	
	執行額	110	134	132				
	執行率(%)	93%	97%	96%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	前年度以上 注:27年度は最終年度ではないが、前年度を超える実績を目標としていることから27年度としている。	相談員養成研修の参加者数	成果実績	人	174	185	170	
			目標値	人	155	174	185	185
			達成度	%	112%	106%	92%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	肝炎ウイルスに関する相談件数	活動実績	件	370	388	709		
		当初見込み	件	435	370	388	709	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	肝炎対策ブロック別担当者会議開催回数	活動実績	回	7	7	7		
		当初見込み	回	7	7	7	7	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	肝炎デーイベント開催数	活動実績	回	3	3	4		
		当初見込み	回	3	3	3	3	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	ACジャパンCM作成件数	活動実績	件	-	1	1		
		当初見込み	件	-	1	1	1	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「平成〇年度の補助金(実際の執行額)」 Y:「平成〇年度の相談員養成研修の開催数」	単位当たりコスト	円	1,342,250	1,122,650	1,508,489	前年度以上の実施主体数	
		計算式	X / Y	2,684,500/2	2,245,300/2	3,016,977/2	前年度以上の実施主体数	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「平成〇年度の補助金(実際の執行額)」 Y:「平成〇年度の肝炎ウイルスに関する相談件数」	単位当たりコスト	円	10,494	9,595	5,240	前年度以上の実施主体数	
		計算式	X / Y	4,071,500/370	3,722,700/388	3,715,023/709	前年度以上の実施主体数	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「平成〇年度の補助金(実際の執行額)」 Y:「平成〇年度の日本肝炎デーイベント開催数」	単位当たりコスト	円	26,259,000	33,526,000	24,475,500	前年度以上の実施主体数	
		計算式	X / Y	78,777,000/3	100,578,000/3	97,902,000/4	前年度以上の実施主体数	

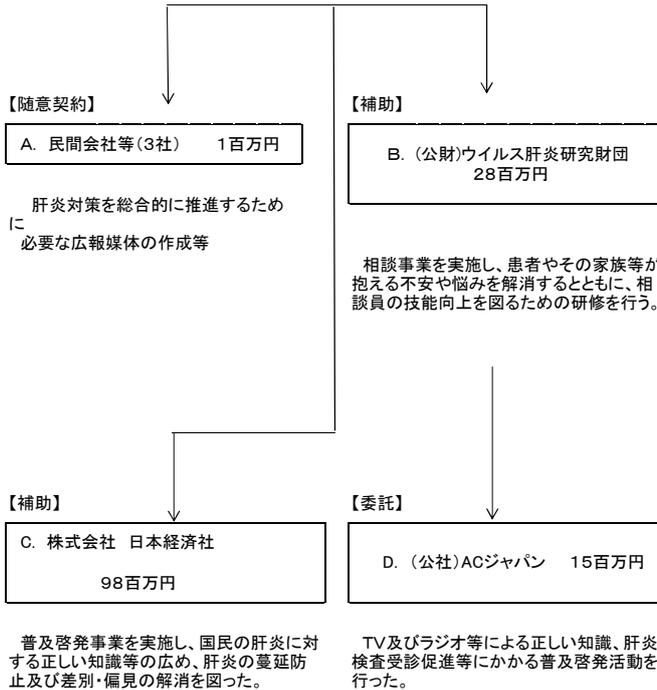
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たり コスト	円	-	14,652,024	15,070,729	前年度以上の 実施主体数
	X:「平成〇年度の補助金(実際の執行額)」 Y:「平成〇年度のAGジャパンGM作成件数」			計算式	X / Y	-	14,652,024/1	15,070,729/1	前年度以上の 実施主体数
平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0							
	職員旅費	1							
	委員等旅費	1							
	庁費	8							
	社会保障関係情報化業務 庁費	97							
	衛生関係指導者養成等委 託費	28							
計	135	0							

事業所管部局による点検・改善						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	ウイルス性肝炎は国内最大級の感染症であり、肝炎対策を総合的に推進することは国民の健康を守る上で最重要の政策課題である。このため、各種の施策が着実に実施し事業目標を達成するためには、国費投入は必要不可欠である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	平成22年1月に施行された肝炎対策基本法や、平成23年5月に策定された肝炎対策基本指針に基づき、国の責務として肝炎総合対策を推進する必要がある。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	平成22年1月に施行された肝炎対策基本法や、平成23年5月に策定された肝炎対策基本指針に基づき、国の責務として肝炎総合対策を推進するものであり、極めて優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	少額随意契約であるため。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業実施に必要な最低限の経費のみを計上しており、コストの水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事業の実施に必要な支出を行うにあたり実情を勘案し支出を行っている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	相談事業に係る役員費等、真に必要な費目・使途に限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	事業実施にあたっては、不断の効率化及びコスト削減に取り組んでいる。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	前年度と比較すると参加者数は減少しているが、一定程度の参加者数は保っているため、引き続き相談員の養成研修を実施し、肝炎相談に対する体制を整備していく。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	医学的な相談等や全国にわたる肝炎の知識の普及啓発を行うことにより肝炎の早期発見・早期治療を図るものであり、他の手段・方法と比較して極めて効果的な事業実施が図られている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	ホームページ等を作成し、肝炎に対する正しい知識や肝炎ウイルス検査の実施場所等について情報提供しており、これらの活用により普及啓発が図られている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	毎年一定回数以上の肝炎対策ブロック別担当会議を開催し、国及び地方公共団体との連携を促進し、肝炎対策の総合的推進を図っている。さらに、例年の予算計上や執行状況等から、より効率的・効果的な予算の執行を目指し、運用してきたといえる。				
	改善の方向性	引き続き、予算の効率的・効果的な執行に努め、肝炎対策の更なる戦略的、総合的な推進を図る。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	145	平成23年度	123	平成24年度	98	
平成25年度	109	平成26年度	119			

厚生労働省 132百万円

※うち、5百万円については
その他事務費に計上。

肝炎対策を総合的に推進するために
必要な広報資材の作成や委託事業を
実施



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

A.株式会社太陽美術			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	肝炎の受診促進に関するポスターの印刷	0.3			
計		0.3	計		0
B.公益財団法人ウイルス肝炎研究財団			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	TV及びラジオ等による普及啓発に係る委託費	15			
庁費	消耗品費、通信運搬費、雑役務費等	7			
諸謝金	相談事業及び普及啓発事業における諸謝金	4			
旅費	相談員養成研究事業及び普及啓発事業における旅費	2			
計		28	計		0
C.株式会社日本経済社			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	会議費、雑役務費、消耗品費、買金、通信運搬費等	94			
諸謝金	実行委員会における諸謝金	4			
計		98	計		0
D.(公社)ACジャパン			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	TVCM制作1式	6			
委託費	TVCMプリント費1式	4			
委託費	ラジオCM制作1式	0.2			
委託費	ラジオCMプリント1式	0.4			
委託費	新聞原稿制作1式	1.2			
委託費	出演料	0.5			
委託費	ACジャパン管理費	2.7			
計		15	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社太陽美術	肝炎の受診促進に関するポスターの印刷	0.3	随意契約	-
2	扶桑速記印刷株式会社	肝炎対策推進協議会等議事録作成	0.1	随意契約	-
3	ファミリーマート甲斐谷同庁舎5号館店	肝炎対策推進協議会等会議費	0	随意契約	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人ウイルス肝炎研究財団	肝炎ウイルスに関する相談事業等の実施	28	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日本経済社	肝炎総合対策推進国民運動事業一式	98	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公社)ACジャパン	制作管理費	15	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					